



埼玉カンピオーネ

Campione

フットサル大会 IN 埼玉 ニュースレター 2017 シーズン版	2017年度 活動報告
2018年3月 発行	発行：フットサル大会 IN 埼玉実行委員会 『埼玉カンピオーネ』

2017シーズンは、これまでの集大成にふさわしいシーズンであったように思います。Sリーグでは8チームが競い合い、全4日程を戦い抜きました。試合時間の10分も定着し、各試合とも見応え、迫力ともに増しました。そして、女性チームづくりの機会も本格的に始動しました。さらには、幅広い人たちとスポーツを通じた繋がりを深めていく活動として、障がいの有無にかかわらない「さるサボ」カップでは、メインサポーターとのコラボ企画や、関東のチームを招待した大会も実現。また、交流会で県内各地を巡回した「キャラバン」では、フットサルの魅力を伝えつつ、Sリーグ加盟チームが地元地域とつながるような支援に力を注いでいきました。

当会では、本ニュースレターの毎年の発行に加え、このたび10周年記念誌を発行して、当会の歩みを記すことができました。これからも、引き続き、精神障がい者フットサルなどソーシャルフットボール活動を地域に幅広く展開していきたいと思っています。

◆◆2017シーズン・全体活動報告◆◆

精神障がい者を対象としたフットサル大会の企画・運営を中心に様々な活動を行ってまいりました。

開催日	主催等	内容
2017年5月3日（水祝）	運営協力	第10回スマイルサッカー大会 精神障がい者の部 会場：レッズランド（さいたま市）参加6チーム
7月17日（月）	主催	サルさぼカップ 2017 会場：西大宮スポーツパーク 参加者：89名
9月17日（土）	主催	Sリーグ2017 第1日程 会場：春日部市立市民体育館（春日部市）参加者：8チーム
10月7日（土）	主催	Sリーグ2017 第2日程 会場：ウイングハット春日部（春日部市）参加者：8チーム
11月4日（日）	主催	Sリーグ2017 第3日程 会場：春日部市立市民体育館（春日部市）参加者：8チーム
12月17日（日）	主催	Sリーグ2017 第4日程 会場：春日部市立市民体育館（春日部市）参加者：8チーム
2018年3月3日（日）	主催	サルさぼカップ関東 ver ～ソーシャルフットボール交流イベント～ 会場：ウイングハット春日部（春日部市）
3月11日（日）	参加	2018シーズンフットサル IN 埼玉実行委員会 総会・記念式典 会場：埼玉精神神経センター・藤井記念館（さいたま市）

◆◆Sリーグ2017シーズン（埼玉県精神障がい者フットサルリーグ）◆◆

2017 シーズン S リーグは、全 8 チームが出場しました。

総当たり戦を二周り(10 分ハーフの前後半戦)で、全 4 日程で組まれた今シーズンも各チームが練習の成果をここぞとばかりに発揮し、熱い戦いが繰り広げられました。

会場は春日部市立市民体育館とウイングハット春日部にて開催され、全 4 日程のうち第 1～3 日程と雨天ではありましたが、悪天候にも負けずに各チームの選手そして応援、ボランティア学生、関係者の方などたくさんの参加があったことが一参加者として大変うれしく思います。

今シーズンは審判団の派遣や得点電光掲示板の導入など、試合の環境面においても新しい取り組みがなされました。審判基準に関する問い合わせや他含めた様々な試合に関する意見も多くあった印象があります。今後の課題が多く見つかったシーズンでもあります。S リーグが運営委員による交流の場の提供に限るのではなく、選手や応援そして地域の関係者の方などを含めた、当事者並びに関係者の参加型の大会を目指すという点において、嬉しいほどの参加者の意見があったシーズンであったと前向きに受け止めています。

今シーズンで印象に残ったことがもう一つあります。それは白熱した試合後の観戦席でのチーム間、応援など参加者同士の交流が多く見られたことです。初めて参加した選手が他のチーム選手からプレーの称賛を受けている場面、そして試合後の感想を語り合う場面は S リーグの数多い魅力のうちのひとつなのだと改めて実感します。



2017 シーズン試合結果

優 勝「FREM. F.C.」 準優勝「EVOLVIMIENTO F.C.」 第 3 位「S.F.C Socio Tokorozawa」

また、今大会では MVP や得点王でなく、貢献した選手 BEST6 を選出して表彰いたしました。

※2017 シーズン試合結果の詳細はホームページをご覧ください。

大会運営に際して、学生ボランティアや地域の関係者のご協力もあり、2017 シーズンを終えることができました。S リーグ運営委員一同、感謝申し上げます。ありがとうございました。

来シーズンはいよいよ埼玉 CAMPIONE 創立 10 周年という記念すべき節目の年となります。

今後も S リーグの更なる発展を運営委員のみならず、当事者や地域の方々と築き上げていけることを目指していければと思います。【担当 前原】

◆◆浦和レッズハートフルカップ 第 10 回スマイルサッカー大会◆◆

天気に恵まれた5月3日(水)さいたま市のレッズランドにて「浦和レッズハートフルカップ第10回スマイルサッカー大会」が開催されました。一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会様、浦和レッズダイヤモンド様が主催で今回10回目を迎えます。県内の学校やクラブ等も参加し、サッカー8人制、フットサル5人制Ⅰ、フットサル5人制Ⅱの部門で試合が行われます。埼玉カンピオーネ所属のチームは

フットサル5人制Ⅱにて2つのリーグに別れ、総当たり戦を行ってリーグ内で順位を決めます。そして、もうひとつのリーグと同じ成績のチーム同士で対戦し、順位を決めます。結果は1位 FREM F.C.2位 S.F.C.SocioTokorozawa3位 EVOLVIENTO F.C.4位ベアーズ5位 Breezers6位 F.C.cangiare となりました。新年度となり、新しいメンバーを加えて挑むチーム、初参加のチーム、芝のある広いフィールドでの試合に優勝したのは FREMF.C.でした。前回は暑い日の開催となり、ばてている方が見られましたが今回は少し肌寒い気温でスポーツをするのにちょうどよくパフォーマンスの高い動きが出せた方も多かったのではないのでしょうか。来年度も過ごしやすい気温でお会いできるのを楽しみにしております。【担当 城戸口】



◆◆サルさぼカップ はっとり接骨院×埼玉カンピオーネ フットサルカップ 2017◆◆

**はっとり鍼灸接骨院×埼玉カンピオーネ
フットサルカップ2017**

精神障がいがある方も、ない方も、一緒にLet's play

—開催日時・会場—
2017年7月17日(祝)
【時間】14:00～17:00(受付13:45～)
【会場】**西大宮スポーツパーク(屋外)**
さいたま市西区宮前町710(JR西大宮駅徒歩3分)

—募集要項—
参加者全員で当日に最大8チームを作って対戦するワンディカップ
【参加費】 一人 500円(チーム参加でも同様、定員制限有り)
【申込方法】 「<https://goo.gl/forms/VGzDHLJZGbgztQWu1>」
又はQRコードからエントリーしてください。
【協賛】 はっとり鍼灸接骨院/蕎麦処天狗屋
【注意】 ① 遠来は9人でのプレイが、女性出場の場合は最高6人まで可能なルール
② 怪我等は主催者側で責任は負いません(各自で保険加入を)
③ 写真撮影やビデオ撮影を撮影する予定です

参加者全員に
商品あります

応募締切 7月14日(金)まで

お問い合わせ先 フットサル大会IN埼玉実行委員会(埼玉カンピオーネ)
E-mail team.campione@gmail.com (担当:岡田・鎌田)
ホームページ <http://www.saitama-campione.com/>

<10チームでの総当たり戦>

2017年7月17年(日)、西大宮スポーツパークにて、埼玉カンピオーネのメインスポンサーである「はっとり接骨院」とのコラボ企画“さるサボカップ はっとり接骨院×埼玉カンピオーネ フットサルカップ2017”を行いました。

はっとり接骨院 服部先生の挨拶により始まった本イベント。参加チームはなんと10チーム!! Sリーグに参加しているチーム・スタッフ、個人参加チーム・はっとりチーム、総勢89名が参加しました。はっとりチームには、患者さんとして来ている小学生も参加し様々な選手が参加していました。



@C.MATSUMOTO/INCOGRAPHICA

<豪華な景品を目指して>

本大会では、はっとり接骨院さんからの協力のもと、はっとり接骨院で利用できる割引券が参加賞として配布されました。そして優勝賞品は、同じくスポンサーである、天狗屋さんからお蕎麦のセットが提供されました。

<参加者、全員が楽しめたイベントに>

試合は全9試合。普段、Sリーグに参加している選手はもちろん、スタッフ・はっとり接骨院の先生、患者さんの小学生も参加しましたが、小学生がボールを持つと空気を読む大人が見守ったり、ガチンコに勝負し合う場面もあり、参加者全員が楽しむことが出来た1日となりました。【担当 鎌田】



◆◆埼玉県セレクションチーム「埼玉CAMPIONE」◆◆

6月30日に行われるソーシャルフットボール大会に向けて、練習を開始した埼玉CAMPIONE。今年は昨年度のメンバーに加え以下のスタッフ体制で取り組んでいます。

＜スタッフ体制＞

監督：古賀 コーチ：駒崎・固山・大澤 コーチ補助：本田

トレーナー：丸山 マネージャー：黒澤・有賀 運営補助：鈴木（篤）・鎌田

＜チームコンセプト＞

自らも県リーグ1部でプレーしている、駒崎コーチから今年のチームコンセプトが発表された。それは、『強度の高いプレス』。選手・スタッフ同じ認識で昨年度の悔しさを晴らす為、練習に取り組んでいます。

＜日本一のチームを目指して＞

約20名の選手で始まった、セレクション活動。セレクション活動は始まった当初から、活動している選手や、今年度初めて参加する選手がいる中、駒崎コーチを中心に質の高い練習が行われています。練習中はもちろん、練習後も難しかったこと・確認したいこと・プレーしていて感じたこと等を選手・スタッフ間でコミュニケーションを行っています。チーム一同、“日本一のチーム”を目指し、これからは練習を積み重ねていきます！

＜ソーシャルフットボール日本代表 選考会＞

12月3日(日)、新宿コズミックセンター(東京都新宿区)にて行われた、ソーシャルフットボール日本代表選考会。埼玉からは、FREM.FCに所属している、松下祐三選手が日本代表候補に選ばれました。

松下選手は、日本代表を目指し以下のようにコメントしています。

「埼玉代表としての、責任を果たせた。選考会を踏まえ、改めてフットサルの楽しさ・魅力に気付くことが出来ました。代表候補ですが、代表に呼ばれるように、リスペクトの精神をもって、全力を出したいと思います。みなさま、応援よろしくお願いします。」と、日本代表を目指し意気込んでいました。【担当 鎌田】



◆◆地区交流会「サルさぼキャラバン2017」◆◆

☆ 中部地区交流会

主催するSリーグの所属チームとのコラボイベントとして、フットサルキャラバン第一弾で開催されました。Sリーグ所属チームメンバーはもちろんのこと、いつもはスタッフとして参加している者や初参加の方などの参加もあり、また、女性も活躍していました。

参加人数は20名(内見学者数名)で、交流イベントとして想定より少数でしたが、活動が軌道に乗れるような活動ができました。【担当 米屋】

☆ 北部地区交流会

2018年1月18日(木) 天気に恵まれた中、北部交流会を開催しました。会場は、大変人気があり休日の予約が難しい熊谷ドームでした。平日にもかかわらず東松山や熊谷、深谷にあるディケア等から

5施設からエントリーがありました。群馬県からも何名かスタッフとして参加してくださり、総勢40名の方が集まりました。内容は、主に親睦を深めるためのレクリエーション、フットサルを知ってもらうための基礎練習、最後にMIXで5チームを作り、ゲームを行いました。

最後までゆるやかな交流会になるかと思ってましたが、ゲームになると、みなさん勝ちたいという気持ちがでてきて、必死にボールを追いかけてはガツガツとシュートを打ちに行き、とても交流会とは思えない白熱したゲームになりました。点数を入れたときなどに、同じチームのメンバーが「ナイスシュート!」と言ったりハイタッチなどする場面も見られ、親睦が一気に深まったような気がします。

参加した方からの感想を聞くと「色々な人と交流できて楽しかった」「またこういう機会があったら是非参加したい」という声が多く、やって良かったと感じました。今後、群馬県とのコラボも目指しながら、もっと北部を熱く盛り上げたいと考えています。応援、参加ぜひともよろしくお願いします。【担当 黒澤】

☆ 東部地区交流会

1月21日(日)ロスター春日部にて、女子フットサル交流会が、開催されました。千葉精神障害者フットサルチーム「AC LUNA」の女子選手も参加してくださったので、総勢11名にて、交流会です。はじめに、自己紹介から始まって、鬼ごっこなどをした後、フットサルの基礎練習、パス練習、シュート練習などを行い、ゲームを行いました。ゴレイロは、男性ボランティアスタッフが加わってのゲームが行われましたが、たいへん白熱した試合になりました。交流会後、参加された方たちと、お話をしましたが、参加してくださったみなさん、楽しかった、参加してよかった、と口にされていて、開催することができて、たいへん良かったです! 【担当 野村】



☆ 南部地区交流会

1月28日(日)美園コミュニティセンターで南部交流会が開催されました。埼玉県で活動するフットサルチーム以外にも初心者、小中学生、サッカーチーム、学生ボランティア等32名が参加。チーム内には初対面の方もおり緊張される方もいましたがゲームや試合を通して次第に表情がやわらぎ笑顔も増えていきました。試合では優勝を目指して各チーム気合十分な様子で試合に臨みました。失敗しても周りがすぐにフォローをする、相手にゴールを決められても称賛を送る等明るくプレイされており見ていて気持ちの良い試合でした。参加者から今回の交流会を聞いてみると「皆楽しそうにしているのでリラックスしてフットサルを楽しめました」とコメントをいただきました。最後に、交流試合での優勝チームと、審判を務めていただいた川口市のサッカー部と対戦し、優勝を勝ち取ったチームの勝利で交流会は終わりました。また楽しい交流会ができればと思います。【担当 城戸口】



☆ 西部地区交流会

2月11日(日)の所沢サン・アビリティーズにて西部交流会を開催しました。天候にも恵まれ総勢32名の方が参加されました。参加者は所沢市を中心に狭山市、川越市、飯能市、入間市などの方で、その中には初めてボールを触る方もいました。午前中はフットサルミニ講座と、パス、ドリブル、シュート練習を行い、午後は交流試合を行いました。交流試合は4チームに分かれて総当たり戦を2回行い、見事優勝のチームには、表彰式にて景品が授与されました。終始、参加された方の方のたくさんの笑顔が見られた楽しい交流会となりました。【担当 松岡】



◆◆始動！ 女子フットサル練習会◆◆

8月20日(日)に日進駅から歩いて5分ほどの所にあるフルマークスポーツ大宮で女子フットサル練習会を行いました。サポーターとして男性の方にも参加してくれて、合計18名が参加しました(女性は10名)。ボールの蹴り方やパス、ドリブルなどの基礎練習をメインに行い、最後のゲームでは女性のゲームだけでなく、男性VS女性なども行い、笑顔あふれる楽しい時間となりました。参加して下さい、協力して下さいの皆様、ありがとうございました。今後も女性のフットサルを広げていけたらと考えていますので、どうぞよろしくお願いいたします！【担当 大澤】



◆◆ボランティアをやってみて 山浦 ゆかりさん◆◆

フットサルの知識もなく、参加してみて、このスポーツの激しさ、男性に混じって、果敢にボールを追う女性の姿に、驚きました。又、若者のボランティアの働きぶりも、みごとでした。

これからも、この大会が続いてくれることを、願います。少しでも、力になればと、思います。【ボランティア 山浦】



◆◆日本ソーシャルフットボール協会(JSFA)の取り組み◆◆

2013年に設立したNPO法人日本ソーシャルフットボール協会の活動は、今年で5年目迎えました。国内・国際大会を含めた様々な取り組みを通して精神障がい者フットボールの活動を推進・振興させ、夢や希望を持つとともに、社会に貢献できる人生を歩めるよう、様々な方々と協働して取り組んでいます。

2017年は、10月に第2回ソーシャルフットボール全国大会(愛媛県)が開催されました。全国から予選等を勝ち抜いて10チームが出場した当大会は、関東予選を勝ち抜いたEspacio(千葉県)・FC PORT(神奈川県)が優勝・準優勝を収めました。予選5チームに分かれた予選からレベルの大会試合が展開され、2年前の第1回大会から各チーム・各地域の成長と発展が感じられる大会となりました。埼玉は関東予選で敗退し出場できなかったものの、優勝・準優勝を飾った関東勢とともにより高みを目指したいと感じた大会となりました。

また、今期は第2回ソーシャルフットボール国際大会(イタリア・ローマ)に向けて、日本代表チームが始動しました。第2回全国大会、その後の2回のセレクション(東京・大阪)で日本代表候補選手15名が選抜され、2018年2月・4月の強化合宿を経て5月の国際大会にディフェンディングチャンピオンとして出場します。そして、埼玉から選考された松下祐三選手(FREM FC)は、今回はサポートメンバーとして選出されております。



JSFA は 2017 年 8 月に株式会社ゼネラルパートナーズとパートナーシップ契約を締結しました。こうした企業との協働はますます期待されます。様々な形で社会に働きかける活動も展開すべく、選手・サポーター・関係者皆さまと取り組んで参りたいと思います。

日本ソーシャルフットボール協会理事／埼玉カンピオーネ副代表
鈴木篤史

【重要なお知らせ】当会の名称変更について

正式名称が「埼玉ソーシャルフットボール協会」に変更となります。

当会「フットサル大会 I N 埼玉実行委員会」は、2008 年 3 月のフットサル交流会から活動を始め、精神障がい者の理解促進及び精神障がい者社会参加を目的に、埼玉県精神障がい者フットサルリーグ「S リーグ」を中心とした精神障がい者フットサルの普及等に取り組んできました。そして当会の活動の多くは当会の通称名称である「埼玉カンピオーネ」として行ってきました。

現在の活動は多岐に渡り、当初活動していたフットサル大会の運営だけでなく、埼玉県選抜チーム「埼玉 CAMPIONE」の運営や「サルさぽ」を中心とした交流活動、ホームページや SNS 等を活用した啓発活動など広がりを見せています。その中で、県内外に当会の認知度が高まる一方で、当会の通称名称と選抜チーム名が混同し、わかりにくさが生じている状況があります。

10 周年を迎えるにあたり、多岐にわたる私たちの活動を更に発展させていくこと、また全国組織である日本ソーシャルフットボール協会の活動に賛同することから、正式な団体名称をこの度、「埼玉ソーシャルフットボール協会」と変更することとなりました。引き続き、皆さまのご参画とご協力をよろしくお願い申し上げます。

【これまでの正式名称】フットサル大会 I N 埼玉実行委員会
⇒ 【これからの正式名称】埼玉ソーシャルフットボール協会

※ 通称名称「埼玉カンピオーネ」と埼玉県選抜チーム「埼玉 CAMPIONE」の名称には変更はありません。

<< 編集後記 >>

昨年に引き続き、ニュースレターの編集を担当しました。昨年は、ニュースレターの作成に、戸惑うことが多く、いろいろ大変なところがありましたが、今年は、ここに余裕を持って、編集を行うことができました。昨年からの取り組みとして、女子フットサルの活動を、開始しましたが、女子交流会に参加されている女性の方々からの感想は、たいへん楽しかったと、お言葉をいただき、これからも、継続して、活動を行っていきたい、と思っております。みなさん、よろしくお願いします。

お話は変わり、今年も、2018 シーズン開始にあたり、運営委員を募集しています！！
運営委員会に参加し、カンピオーネの活動に貢献したい！更なる発展のために提案したい！
興味がある方は、ぜひお声かけください。よろしくお願いします。【野村】



－お問合せ先－ フットサル大会 I N 埼玉実行委員会（埼玉カンピオーネ）
E-mail team.campione@gmail.com
ホームページ <http://www.saitama-campione.com/>